ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

シートNO.

ボーリング名	B-2(右岸)	調査位置				北　緯	36 ° 35 ' 30.0000 "
発 注 機 関	栃木県鹿沼土木事務所		調査期間	2008-02-15 ～ 2008-02-27		東　経	139 ° 38 ' 33.0000 "
調 査 業 者 名		主任技師	現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者	ボーリング責任者	
孔 口 標 高	228.41 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	試 錐 機	ハンマー落下用具
総 掘 進 長	15.00 m	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種		エンジン	ポ ン プ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	227.66	0.75	0.75		盛土(礫混じりシルト) (M-G)	黒褐			シルト主体にφ10～60mmの角礫点在。含水中位。。		
1	226.36	1.30	2.05		礫混じりシルト (M-G)	褐			含水中位。シルト主体にφ2～35mmの角礫点在。1.75m以深不均一に細砂混入。		
2	223.01	3.35	5.40		砂礫 (GS)	褐灰			含水中位。φ2～65mmの亜角～亜円礫。3.50m以深φ75～85mmの亜角礫連続的。マトリックスは2.50mまでシルト混じり中粗砂、以深中粗砂主体。		02/28 3.85
6	218.51	4.50	9.90		強風化頁岩 (Sh)	黄褐灰～暗灰			強風化質。コアは粘土状、砂状主体で採取される。8.90mより暗灰色。		
10	213.41	5.10	15.00		頁岩 (Sh)	黒灰			コアは砂状～細角礫状で採取される。割れ目は細状。		
13						黒灰			コアは13.10mまで砂状、角礫状で採取される。13.10mより角礫状、短棒状で採取される。岩片はほとんど風化・変質していない。		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1 / 35			1 / 35	1
1.50					
2.15	4	3	5	12 / 30	12
2.45					
3.15	11	16	23 / 7	50 / 27	>50
3.42					
4.15	17	18	13	48 / 30	48
4.45					
5.25	7	6	6	19 / 30	19
5.55					
6.15	10	11	8	29 / 30	29
6.45					
7.00	10	10	30 / 7	50 / 27	>50
7.27					
8.05	12	12	17	41 / 30	41
8.35					
9.05	3	5	7	15 / 30	15
9.35					
10.05	15	19	14	48 / 30	48
10.35					
11.05	36	14 / 3		50 / 13	>50
11.18					
12.05	17	25	8 / 3	50 / 23	>50
12.28					
13.00	50 / 5			50 / 5	>50
13.05					
14.00	50 / 0			50 / 0	>50
14.00					
15.00	50 / 0			50 / 0	>50
15.00					

原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						02/18
						02/19
						02/20
						02/22
						02/23
						02/25
						02/27